

<凡例>

柱状図および土質区分

第 1 分 類

区分	分 類 名	図様
	礫	(G)
	礫 質 土 (G F)	
土	砂	(S)
	砂 質 土 (S F)	
質	シ ル ト (M)	
材	粘 性 土 (C)	
料	有 機 質 土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土(腐植土) (P t)	

第 2 分 類

区分	分類名	図様
補	砂	質 (S)
	シルト	質 (M)
	粘土	質 (C)
	有機	質 (O)
助	火山灰	質 (V)
	玉石混	り (- B)
記	砂利、礫混	り (- G)
	砂混	り (- S)
号	シルト混	り (- M)
	粘土混	り (- C)
	有機質土混	り (- O)
	火山灰混	り (- V)
	貝殻混	り (- Sh)

第 3 分 類

区分	分 類 名	図様
岩	硬 岩 (H R)	
	中 硬 岩 (M R)	
石	盤 軟 岩、風化岩 (W R)	
材	玉	石 (B)
料	浮 石 (軽 石) (P m)	
特	シ ラ	ス (S i)
	ス コ リ	ア (S c)
殊	火 山 灰 (V A)	
土	ロ ー ム (L m)	
材	黒 ボ	ク (K b)
料	マ	サ (W G)
表		土 (S s)
	埋	土 (F i)
廃	棄 物 (W)	

試料採取方法

- ① シンウォールサンブラーによる
- ④ デニソンサンブラーによる
- ⑤ 貫入試験器による
- ⑥ フォイルサンブラーによる
- ⑦ () による

備 考

<凡例>

断層・破碎帯・変質帯

角礫状

砂・礫混り粘土状

粘土状

コア硬軟区分判定表

記号	硬 軟 区 分
A	極硬、ハンマーで容易に割れない。
B	硬、ハンマーで金属音。
C	中硬、ハンマーで容易に割れる。
D	軟、ハンマーでポロポロに碎ける。
E	極軟、マサ状、粘土状。

コア割れ目状態判定表

記号	割 れ 目 状 態 区 分
a	密着している。あるいは分離しているが割れ目沿いの風化・変質は認められない。
b	割れ目沿いの風化・変質は認められるが、岩片はほとんど風化・変質していない。
c	割れ目沿いの風化・変質は認められ軟質となっている。
d	割れ目として認識できない角礫状、砂状、粘土状コア。

備 考

風化区分表

記号	風 化 の 程 度
α	非常に新鮮である。
β	新鮮である。層理面、劈開に沿ってわずかに変色があり割れ易い。
γ	弱風化している。層理面、劈開に沿って風化している。
δ	風化している。岩芯まで風化している。ハンマーで簡単に崩せる。
ε	強風化している。褐色化し、指先で簡単に崩すことができる。

変質区分表

記号	変質区分	変 質 状 況
1	非変質	肉眼的に変質鉱物が認められないもの。
2	弱変質	原岩組織を完全に残し、変質程度が低いもの。 または、非変質部の割合が肉眼で50%以上のもの。
3	中変質	肉眼で変質が進んでいると判断できると判断できるが原岩組織を明らかに残し、原岩判定が容易なもの。 または、非変質部を残すものおよび網状変質部。
4	強変質	構成鉱物、岩片等変質鉱物で完全置換され、原岩組織を全く～ほとんど残さないもの。

コア形状区分判定表

記号	模 式 図	コ ア 形 状
I		長さが50 cm以上の棒状コア。
II		長さが50～15 cmの棒状コア。
III		長さが15～5 cmの棒状～片状コア。
IV		長さが5 cm以下の棒状～片状コアでかつコアの外周の一部が認められるもの。
V		主として角礫状のもの。
VI		主として砂状のもの。
VII		主として粘土状のもの。
VIII		コアの採取が出来ないもの。スライムも含む。(記事欄に理由を書く)

岩級区分基準表

岩級	特 徴
A	きわめて新鮮なもので造岩鉱物および粒子は風化、変質を受けていない。キレツ、節理はよく密着しそれらの面に沿って風化の跡は見られないもの。ハンマーによって打診すれば澄んだ音を出す。
B	岩質堅硬で開口した(たとえば1 mmでも)キレツあるいは節理はなく、よく密着している。ただし、造岩鉱物および粒子は部分的に多少風化、変質が見られる。ハンマーによって打診すれば澄んだ音を出す。
CH	造岩鉱物および粒子は石英を除けば風化作用を受けてはいるが岩質は比較的堅硬である。一般に褐鉄鉱などに汚染せられ、節理あるいはキレツの間の粘着力はわずかに減少しており、ハンマーの強打によって割れ目に沿って岩塊が剥脱し、剥脱面には粘土質物質が残留することがある。ハンマーによって打診すれば濁った音を出す。
CM	造岩鉱物および粒子は石英を除けば風化作用を受けて多少軟質化しており、岩質も多少軟らかくなっている。節理あるいはキレツの間の粘着力は減少しており、ハンマーの普通程度の打撃によって、割れ目に沿って岩塊が剥脱し、剥脱面には粘土質物質が残留することがある。ハンマーによって打診すれば多少濁った音を出す。
CL	造岩鉱物および粒子は風化作用を受けて軟質化しており、岩質も軟らかくなっている。節理あるいはキレツの間の粘着力は減少しており、ハンマーの打撃によって、割れ目に沿って岩塊が剥脱し、剥脱面には粘土質物質が残留する。ハンマーによって打診すれば濁った音を出す。
D	岩石鉱物および粒子は風化作用を受けて著しく軟質化しており、岩質も著しく軟らかい。節理あるいはキレツの間の粘着力はほとんどなく、ハンマーによってわずかな打撃を与えるだけでくずれ落ちる。剥脱面には粘土質物質が残留する。ハンマーによって打診すれば著しく濁った音を出す。